



年頭のごあいさつ

月 瀧 村 議 会 議 長

神 保 善 二

新年明けましておめでとうございます。

昭和六十二年の輝かしい新春を迎え、謹んで皆様の御健勝をお慶び申し上げますとともに、平素本村議会に賜りました御指導、御支援に対し、議会を代表し、厚く御礼申し上げる次第でございます。

さて、昭和六十一年は寅年でありました。「寅年は荒れる」とか申すそうでありますが、言葉どおり国の内外を問わず、社会経済情勢においても、また、自然界においてもまさに大荒れに荒れた一年であったかと思えます。

幸い、本村におきましては昨年、村民挙げて取り組んでいた立村八十周年記念事業の成功をはじめ、農村総合整備モデル事業による曲通地区多目的共同利用施設建設着手及び道路環境の整備、工業再配置促進事業による防災行政無線の設置、また、新農業構造改善事業もほぼ完了す

るなど、各補助事業も順調に推進され、あるいはまた、水道施設拡張事業も完成をみるなど、諸事業それぞれ充実、推進が図られましたことは、誠に喜ばしく、御同慶の至りであります。

しかしながら、我が国の社会経済情勢は今、人口構造の高齢化、高度情報化等の波の中で大きく変わろうとしており、加えて、貿易収支の不均衡による経済摩擦の激化、円高デフレなど、困難な課題が山積しており、これら諸問題は、いよいよ深刻の度を深めております。

これら状況を受けての国の新年度予算は、五年連続してのマイナス概算要求基準での予算編成となり、三十二年ぶりの超緊縮予算となるというように報道されており、加えて税制の抜本的改革も検討されております。

また、地方財政におきましても多額の財源不足が見込まれるなど、国・地方を通じて今後ますます厳しい財政運営を強いられようとしております。

さらに、本村農業を取りまく環境も、水田農業確立対策

又、農業を巡る情勢はポスト三期対策という政策の中でより一層厳しさが求められております。行政の立場からも、生産者の代表である農協並びに各関係機関と協力し合い、農業振興政策を実施してまいりたいと考えております。

又、商工業発展の為の産業育成資金、近代化資金の充実、商店街の活性化の為商工会と一体化しての振興政策、その他福祉、教育、健康づくりの為の政策、特に教育関係につきましては将来予想される学校移転新築について協議して頂く為、委員会を設置し具体的に検討に入っていきたいと考えております。

これらの行政をスムーズに執行し、村民に周知徹底する為六十一年度に竣工致しました防災行政無線を有効に活用し村民に対しキメ細かな行政サービスに努力を致しまして明るい月瀧村を実現してまいりたいと考えております。

どうか本年も倍旧の御理解と御協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げますとともに、皆様の御多幸と御健康をお祈り致しまして、年頭の御挨拶と致します。

年頭の御挨拶

月 瀧 村 長

金 子 由 征



明けましておめでとうございませう。

輝かしい昭和六十二年の新春を迎え、皆様には益々御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。旧年中は公私にわたり一方ならぬ御指導御協力を賜り、心から感謝をいたし厚く御礼を申し上げます。特に二月の村長選挙におきましては、村民の皆様のおかげで御支援を頂き無投票当選の栄に浴させて頂きましたことを改めて御礼申し上げます。二期目も初心を忘れず月瀧村発展の為に努力を致す所存であります。

昨年は又、月瀧村が誕生してから八十年という節目の年でもあり、「温故知新」の意味で村民総参加で各種行事を計画し、成巧裡に実施してまいりました。その中から今後

の月瀧村発展の為に村民が心を一つにして努力していかなければならないという意識、即ち「一村一心」という意識が改めて認識されたことは大変有意義であったと考えております。

さて我が国の経済は円高の直撃を受け、ますます厳しい状況下にあります。輸出関連のみならず、国内消費の落ち込みにより、あらゆる業種に不況の波が押し寄せていると言っても過言ではない状況であります。それに伴い六十一年度の地方交付税についても非常に厳しい面が予想されます。しかしながら住民の多様化する要望等にも、行政の責任者として応えていかなければならぬと考えております。

さて、六十一年度は環境整備は農村総合整備モデル事業を中心として、そのうえに単独事業を組み合わせ、より良い生活環境を作り上げていきたいと考えております。

又、農業を巡る情勢はポスト三期対策という政策の中でより一層厳しさが求められております。行政の立場からも、生産者の代表である農協並びに各関係機関と協力し合い、農業振興政策を実施してまいりたいと考えております。

又、商工業発展の為の産業育成資金、近代化資金の充実、商店街の活性化の為商工会と一体化しての振興政策、その他福祉、教育、健康づくりの為の政策、特に教育関係につきましては将来予想される学校移転新築について協議して頂く為、委員会を設置し具体的に検討に入っていきたいと考えております。

これらの行政をスムーズに執行し、村民に周知徹底する為六十一年度に竣工致しました防災行政無線を有効に活用し村民に対しキメ細かな行政サービスに努力を致しまして明るい月瀧村を実現してまいりたいと考えております。

どうか本年も倍旧の御理解と御協力を賜りますよう、心からお願ひ申し上げますとともに、皆様の御多幸と御健康をお祈り致しまして、年頭の御挨拶と致します。